

# 2023年12月期 決算補足説明資料

株式会社 ミズホメディー(証券コード4595)

2024年3月1日

- I 2023年度 決算実績  
2024年度 業績予想**
- II 今後の成長戦略**
- III 事業概要（ご参考）**

# 会社概要



- 商号 株式会社 ミズホメディー（証券コード4595）
- 設立 1977年11月2日
- 本社所在地 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4
- 代表者 代表取締役会長兼社長 唐川文成
- 従業員数 180名（2023年12月31日現在）
- 事業内容
  - ・病院・開業医向け体外診断用医薬品の開発・製造・販売
  - ・OTC（薬局・薬店）向け検査薬の開発・製造・販売
- 主要取引先 株式会社メディセオ、東邦薬品株式会社  
株式会社スズケン、アルフレッサ株式会社  
株式会社アステム、富士フイルム株式会社 他
- 営業拠点
  - ・本社 ・東京営業所 ・大阪営業所
  - ・名古屋営業所 ・その他各地駐在
- 開発拠点
  - ・本社（鳥栖）・遺伝子研究所（久留米）



本社・工場（佐賀県鳥栖市）



久留米工場・遺伝子研究所（福岡県久留米市）

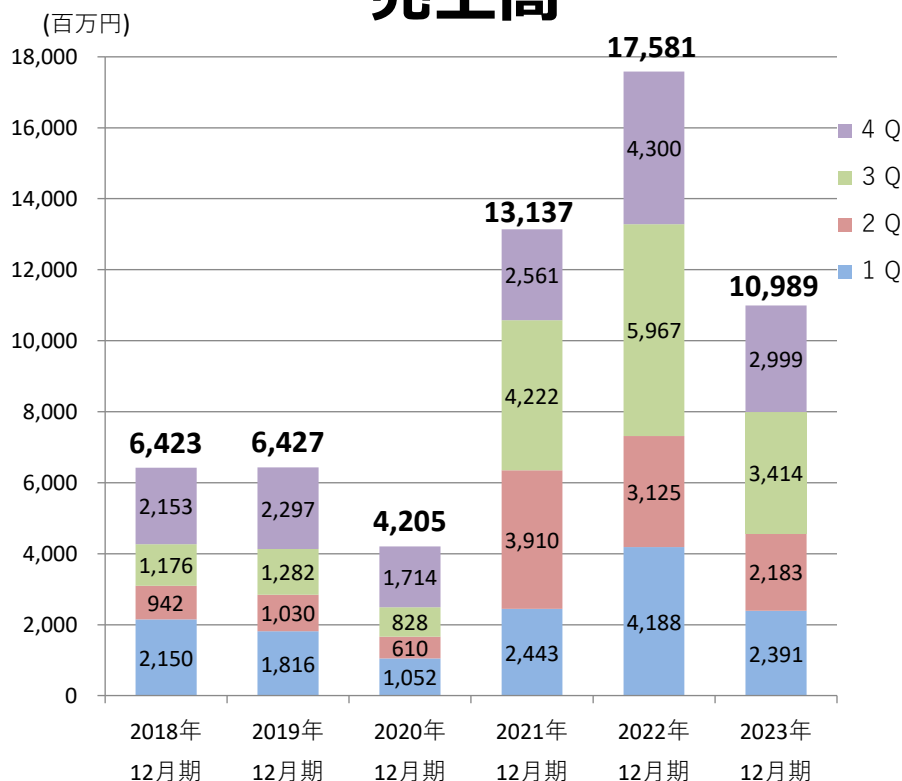
**I 2023年度 決算実績  
2024年度 業績予想**

# 2023年12月期 決算実績 業績の推移（売上高、経常利益・当期純利益）

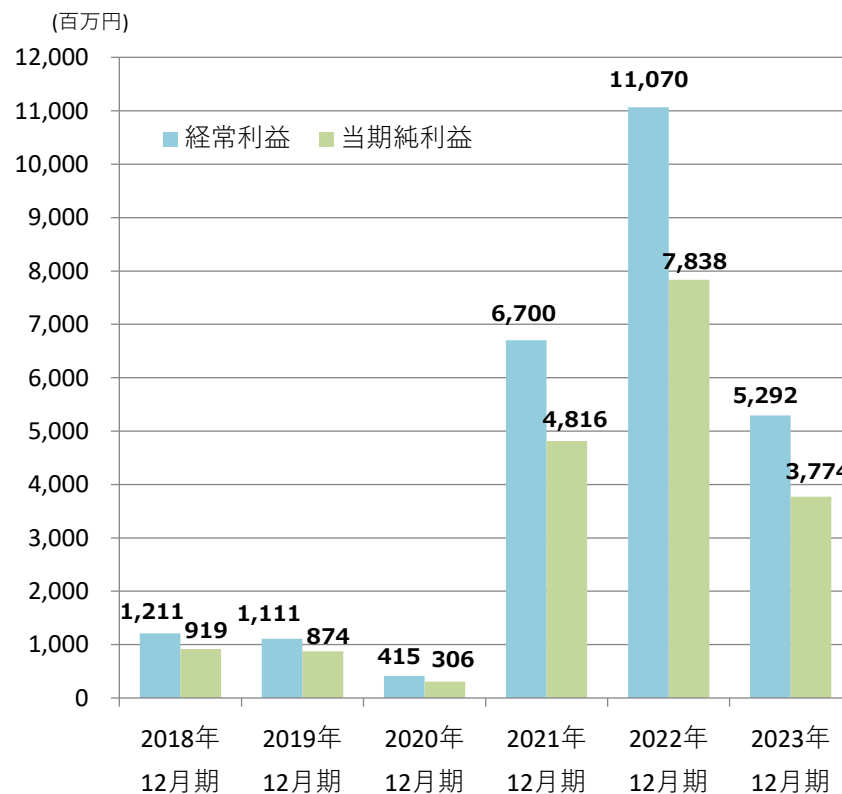


- 2021年～2023年：新型コロナウイルス検査薬の売上高が急増、大幅な増益
- 2020年：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上高・利益は大幅に減少
- 2019年まで：売上高の約50%はインフルエンザ検査薬（流行期の1Qと4Qに集中）

## 売上高



## 経常利益・当期純利益

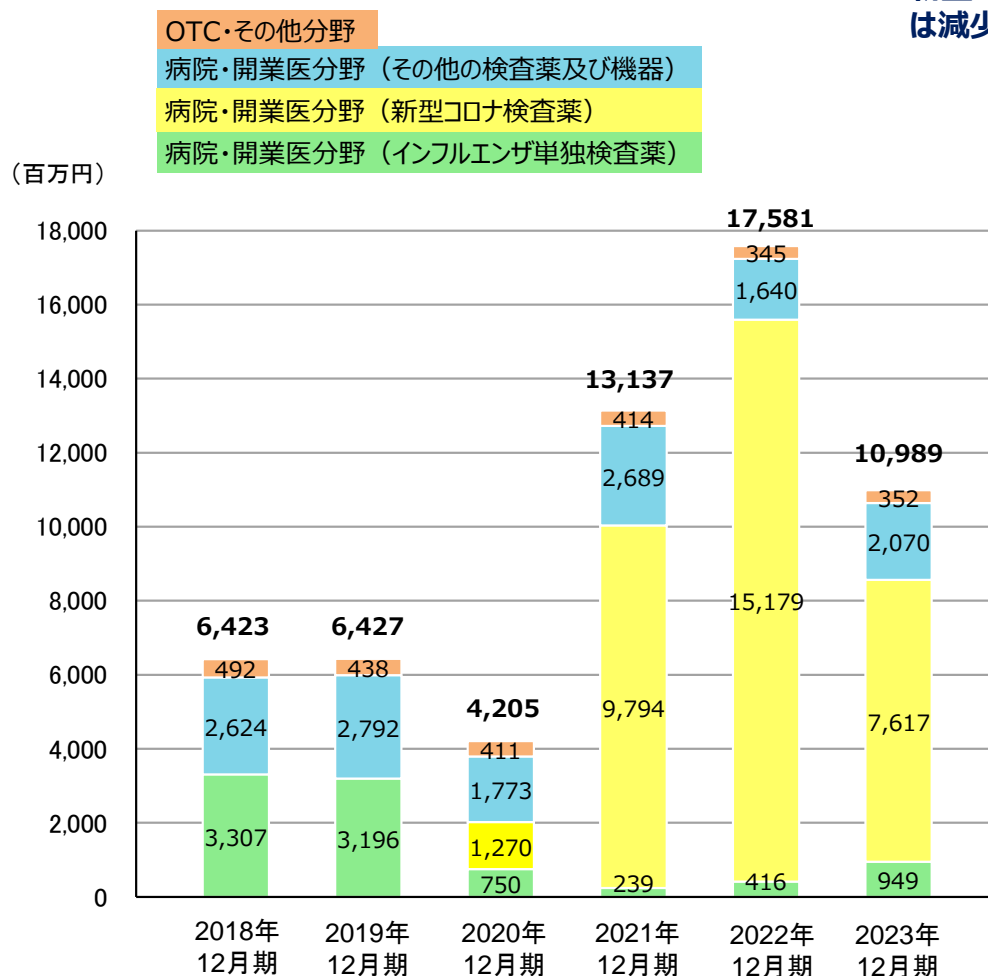


※2022年12月期以降の売上高は「収益認識に関する会計基準」等適用後の数値

# 2023年12月期 決算実績 市場分野別の売上高推移



## 市場分野別の売上高



## 2023年12月期 実績（10,989百万円 前期比37.5%減）

▶ 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、遺伝子検査キットの売上高は減少するも、インフルエンザやその他感染症抗原キットの売上高が増加

### ■ 病院・開業医分野（10,636百万円 同38.3%減）

#### ◇ 新型コロナ検査薬（7,617百万円 同49.8%減）

- ・スマートジーン SARS-CoV-2 → 5類移行の影響により、出荷数は66万テストと大幅減少（前期は215万テスト）
- ・抗原キット → インフルエンザの流行を背景として、新型コロナ・インフルエンザ同時検出キットの需要増加、高感度検出キット（銀増幅イムノクロマト法）を含め、計445万テストを出荷

#### ◇ インフルエンザ単独検査薬（949百万円 同128.2%増）

- ・3年ぶりに流行入りし、異例の夏場の流行以降も拡大が継続し、出荷数は大幅に増加

#### ◇ その他の検査薬及び機器（2,070百万円 同26.2%増）

- ・その他の感染症項目の検査薬は、5類移行という社会環境の大きな変化に伴い、多くの感染症が異例の流行、ほぼ全ての検査項目で増収
- ・全自動遺伝子解析装置 Smart Geneの出荷台数は約200台、累計販売台数は、約5,200台(2023年12月末時点)

### ■ OTC・その他分野（352百万円 同2.0%増）

#### ◇ 妊娠検査薬及び排卵日検査薬

新型コロナの影響から脱しつつあるも、ほぼ横ばい

※2022年12月期以降の売上高は「収益認識に関する会計基準」等適用後の数値

# 2023年12月期 決算実績 損益計算書 P/L (前期比・予想比)



- 売上高 10,989百万円 (前期比 37.5%減、予想比 1.0%増)
- 経常利益 5,292百万円 (前期比 52.2%減、予想比 0.9%増)

- ✓ 前期比 : 新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響により、インフルエンザやその他感染症項目の売上高は増加するも、スマートジーン SARS-CoV-2の減収により、大幅な減収減益
- ✓ 予想比 : 第9波収束も、その他感染症項目の増収により、売上高・利益ともにほぼ計画どおりに着地

(百万円)

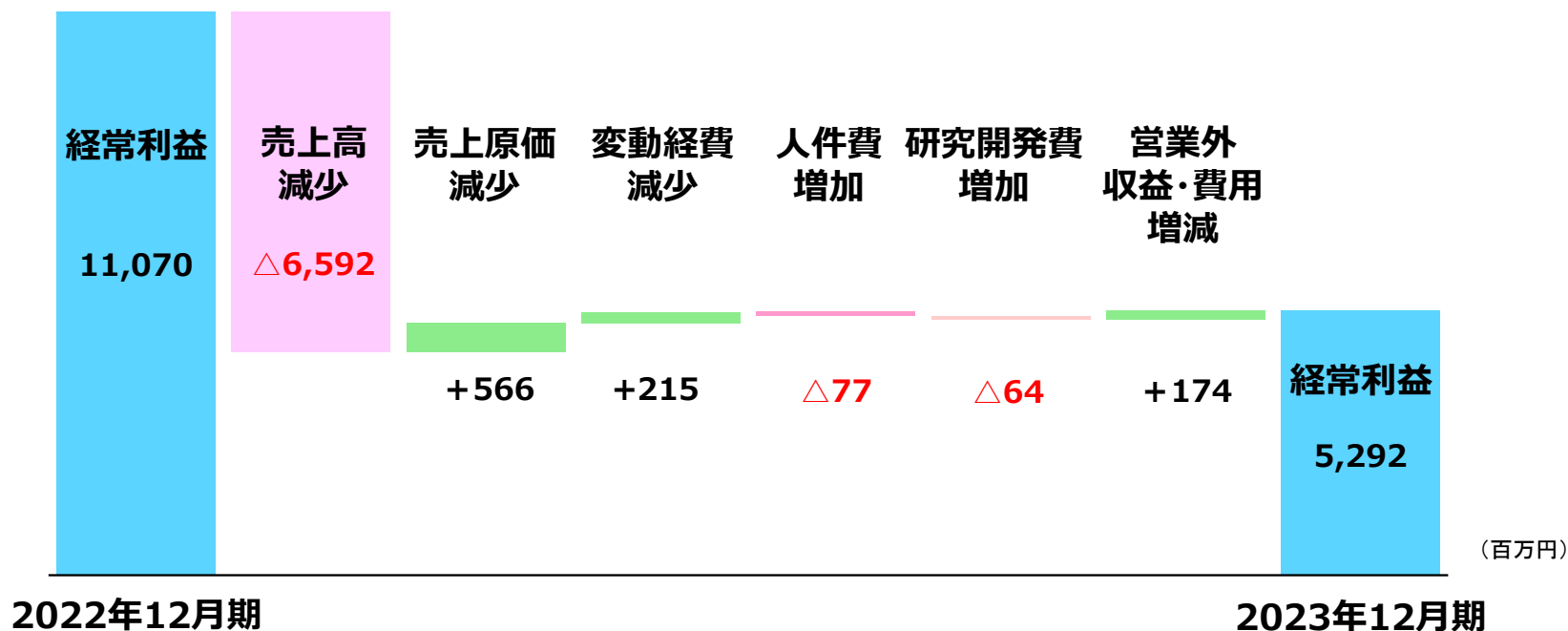
	2022年12月期		2023年12月期							
	前期実績		23/11/10予想		当期実績		前期比		予想比	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	構成比 %	増減額	増減率 %	増減額	増減率 %
売上高	17,581	100.0	10,877	100.0	10,989	100.0	△6,592	△37.5	112	1.0
売上総利益	14,100	80.2	8,073	74.2	8,074	73.5	△6,026	△42.7	0	0.0
販売費及び一般管理費	2,995	17.0	2,987	27.5	2,922	26.6	△73	△2.5	△65	△2.2
営業利益	11,104	63.2	5,086	46.8	5,151	46.9	△5,952	△53.6	65	1.3
経常利益	11,070	63.0	5,243	48.2	5,292	48.2	△5,778	△52.2	48	0.9
当期純利益	7,838	44.6	3,748	34.5	3,774	34.3	△4,063	△51.8	25	0.7



# 2023年12月期 決算実績 経常利益 増減要因



- ▶ 新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響により、インフルエンザやその他感染症項目の抗原キットの売上高は増加するも、遺伝子POCT検査キットの売上高が大幅に減少
- ▶ 売上高減少に伴い変動経費は減少するも、人件費及び研究開発費が増加
- ▶ これらの結果、2023年12月期の経常利益は、5,292百万円





# 2023年12月期 決算実績 貸借対照表 B/S（資産）



（百万円）

	2022年 12月期	2023年 12月期	増減額	主な増減内容
流動資産	16,500	16,289	△210	
現金及び預金	8,702	10,134	1,432	・売上債権の回収に伴う増加
売上債権	6,389	4,400	△1,988	・主に新型コロナウイルス遺伝子 POCT検査薬の売上高の減少
たな卸資産	1,267	1,596	329	
その他流動資産	141	157	16	
固定資産	2,601	2,658	56	
有形固定資産	2,153	2,251	98	
無形固定資産	14	11	△2	
投資その他の資産	434	395	△39	
資産合計	19,102	18,948	△153	

# 2023年12月期 決算実績 貸借対照表 B/S（負債・純資産）



(百万円)

	2022年 12月期	2023年 12月期	増減額	主な増減内容
流動負債	3,921	2,279	△1,642	
仕入債務	737	512	△225	
短期借入金	—	—	—	
その他流動負債	3,184	1,767	△1,417	・未払法人税等の減少 △1,284
固定負債	897	992	95	
長期借入金	—	—	—	
その他固定負債	897	992	95	
負債合計	4,819	3,272	△1,547	
株主資本	14,282	15,675	1,392	
資本金	464	464	—	
資本剰余金	274	274	—	
利益剰余金	13,545	14,938	1,393	・2022年期末配当金△1,809 ・2023年中間配当金△571 ・当期純利益3,774
純資産合計	14,282	15,675	1,393	
負債純資産合計	19,102	18,948	△153	

# 2023年12月期 決算実績 キャッシュ・フロー計算書



(百万円)

	2022年 12月期	2023年 12月期	主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,172	3,991	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税引前当期純利益 (+5,292)</li> <li>・売上債権の減少 (+1,988)</li> <li>・減価償却費 (+195)</li> <li>・法人税等の支払 (△2,718)</li> <li>・棚卸資産の増加 (△329)</li> <li>・仕入債務の減少 (△236)</li> <li>・未払消費税等の減少 (△142)</li> </ul>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,553	△270	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産の取得 (△262)</li> </ul>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,570	△2,381	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配当金の支払 (△2,380)</li> </ul>
現金及び現金同等物の増減額	3,048	1,341	
現金及び現金同等物の期首残高	4,326	7,375	
現金及び現金同等物の期末残高	7,375	8,716	

# 2024年12月期 業績予想 市場分野別 売上高予想



予想の前提条件： ■ 新型コロナウイルス検査薬は、診療報酬改定を考慮に入れて算定(織り込み済み)  
■ インフルエンザやその他感染症の検査薬は、コロナ禍前の状況により近づく

## ◆ 病院・開業医分野 — 10,089百万円 (前期比 5.1%減)

- 「スマートジーン SARS-CoV-2」は、入院・手術前検査など院内感染防止のための「無症状者の陰性を確認する高精度な検査」として、感染動向に左右されない一定の安定的需要が継続することを見込み、約26億円(69万テスト)
- 抗原キットのQC CoV/Flu同時検査キット、Auto SARS-CoV-2(銀増幅法)等は、約40億円(518万テスト)
- インフルエンザやその他感染症項目の検査薬は、5類移行後、様々な感染症が異例の流行を示しており、今後の検査需要はさらに回復していくと想定

## ◆ OTC・その他分野 — 341百万円 (前期比 3.3%減)

(百万円)

	2023年12月期		2024年12月期			
	当期実績		次期通期予想			
	売上高	構成比%	売上高	構成比%	増減額	増減率%
■ 病院・開業医分野	10,636	96.8	<b>10,089</b>	96.7	△547	△5.1
(新型コロナウイルス検査薬)	7,617	69.3	6,657	63.8	△959	△12.6
(インフルエンザ(単独)検査薬)	949	8.6	863	8.3	△85	△9.0
(その他の検査薬・機器)	2,070	18.8	2,568	24.6	497	24.0
■ OTC・その他分野	352	3.2	<b>341</b>	3.3	△11	△3.3
合計	10,989	100.0	<b>10,430</b>	100.0	△559	△5.1

# 2024年12月期 業績予想 通期業績予想（見積損益計算書 P/L）



## ▶ 2024年12月期 通期業績予想

■売上高 10,430百万円（前期比 5.1%減） ■営業利益 4,162百万円（前期比19.2%減）

■経常利益 4,169百万円（前期比21.2%減） ■当期純利益 3,016百万円（前期比20.1%減）

- 新型コロナウイルス検査薬は、診療報酬改定の影響により減収予測（織り込み済み）
- その他の感染症の抗原キットは、5類移行後、さらに需要が回復し増収予測
- 遺伝子POCT機器・試薬システムの新項目開発や次世代システムの開発に重点を置き、研究開発投資を促進
- 製造工程の自動化・機械化による生産キャパシティの拡大、全社的な人材確保・人員の増強

（百万円）

	2023年12月期		2024年12月期			
	当期実績		次期通期予想			
	金額	構成比%	金額	構成比%	増減額	前期比%
売上高	10,989	100.0	10,430	100.0	△559	△5.1
売上総利益	8,074	73.5	7,464	71.6	△609	△7.5
販売費及び一般管理費	2,922	26.6	3,301	31.7	379	13.0
営業利益	5,151	46.9	4,162	39.9	△989	△19.2
経常利益	5,292	48.2	4,169	40.0	△1,122	△21.2
当期純利益	3,774	34.3	3,016	28.9	△757	△20.1

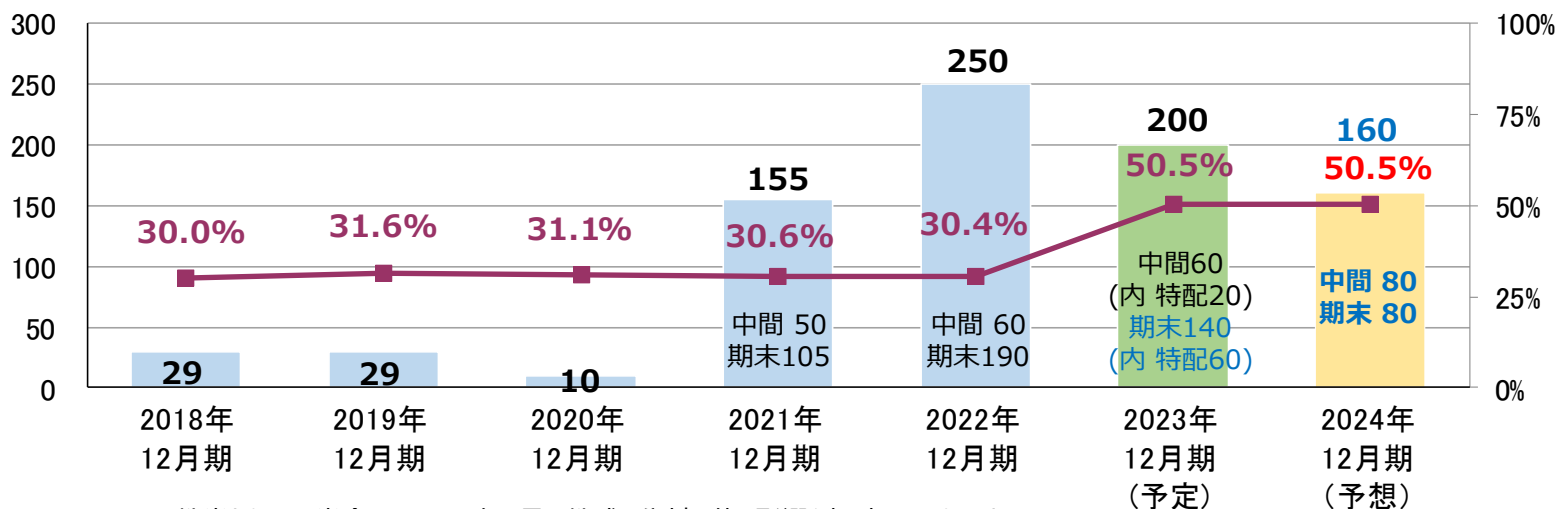
## 配当方針

『業績に応じた配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定』

- 2022年12月期まで ⇒ 配当性向30%
- 2023年12月期 ⇒ 配当性向30% + **特別配当** = **配当性向50%**  
 ※株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、特別配当を実施
- 2024年12月期より ⇒ **配当方針の変更「配当性向50%目標、中間配当と期末配当の年2回」**  
 ※株主の皆様への利益還元の姿勢をより明確にし、かつ充実させるため配当方針を変更

1株当たり配当金  
(円)

配当性向  
(%)

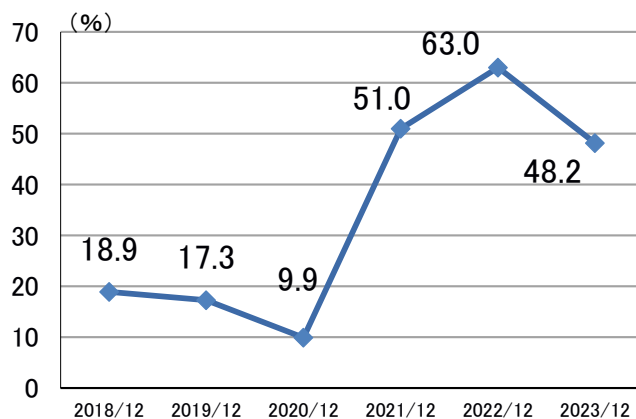


※1株当たりの配当金は、2018年6月の株式2分割に伴う影響を加味しております。

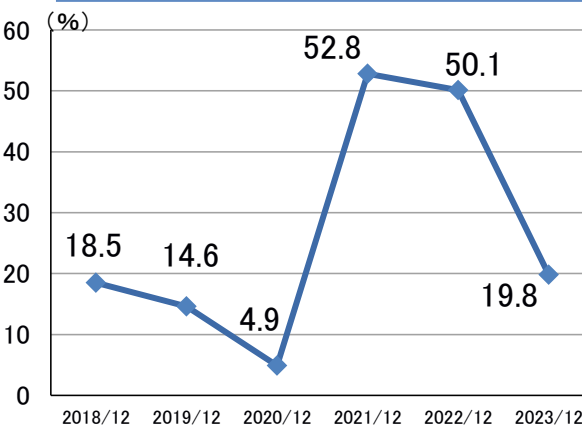
# 財務比率等の推移



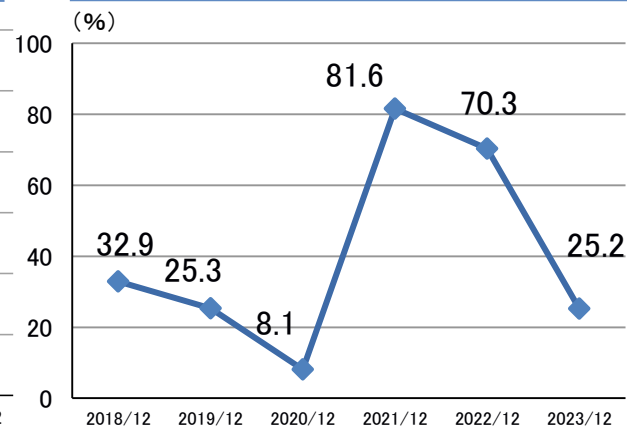
## 売上高経常利益率



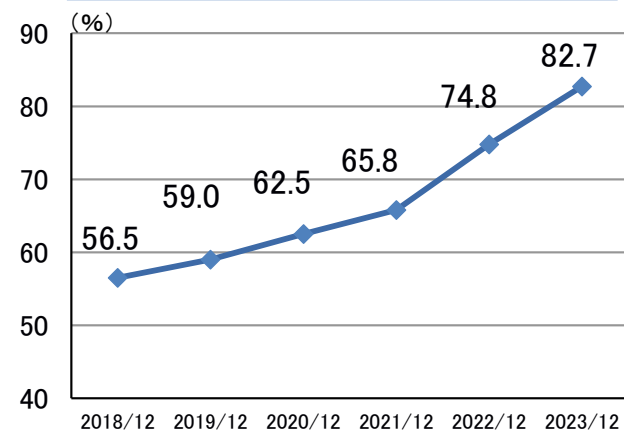
## 総資産利益率 (ROA)



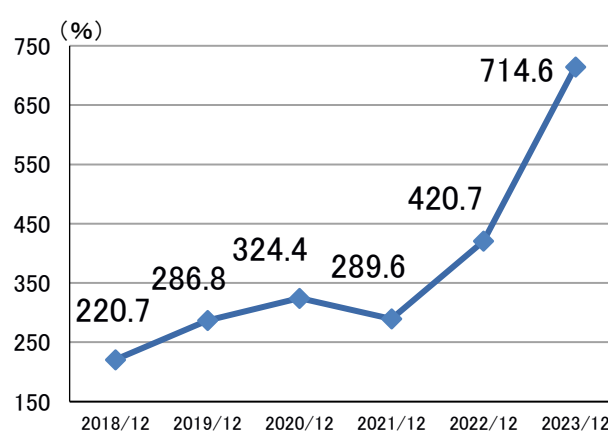
## 自己資本利益率 (ROE)



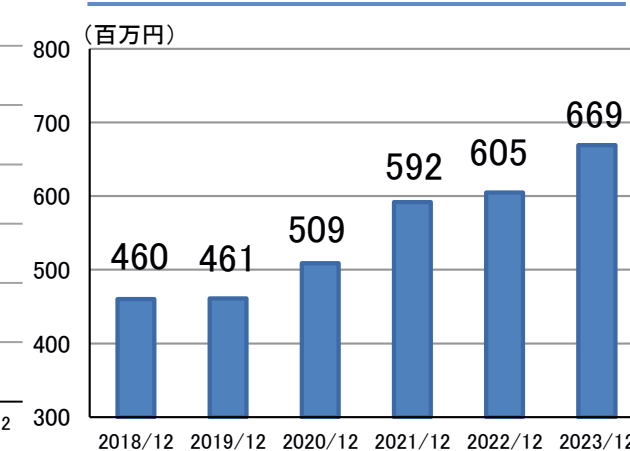
## 自己資本比率



## 流動比率



## 研究開発費推移





## Ⅱ 今後の成長戦略

## アフターコロナ外部環境変動

2024年2月14日 答申書（令和6年度診療報酬改定 中医協総会）

### □ 感染症免疫学的検査

（クイックチェイサー 新型コロナ，インフルエンザ関連項目）

	新	旧
インフルエンザウイルス抗原定性	132点	136点
SARS-CoV-2抗原定性	150点	300点
SARS-CoV-2／インフルエンザウイルス抗原同時検出定性	225点	420点
SARS-CoV-2／RSウイルス抗原同時検出定性	420点	420点

### □ 微生物核酸同定・定量検査（スマートジーン販売項目）

	新	旧
マイコプラズマ核酸検出	291点	291点
インフルエンザ核酸検出	291点	410点（重症患者のみ）
ヘリコバクター・ピロリ核酸及び クラリスロマイシン耐性遺伝子検出	360点	360点
CDトキシン核酸検出	450点	450点
SARS-CoV-2核酸検出	700点	700点

※ 2024年12月期の業績予想（2024年2月9日公表）は、これらの診療報酬改定の影響を織り込んでおります。

## スクリーニング診断（抗原迅速検査）

### クイックチェイサー（クイックチェイサー Auto）シリーズ

#### 小児を中心とした呼吸器感染症

インフルエンザウイルスA,B、新型コロナウイルス、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、A群β溶連菌、マイコプラズマニューモニエ、アデノウイルス、肺炎球菌、レジオネラ

#### 消化器感染症

ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、H.pylori菌、CDトキシン

## 確定診断（遺伝子POCT）

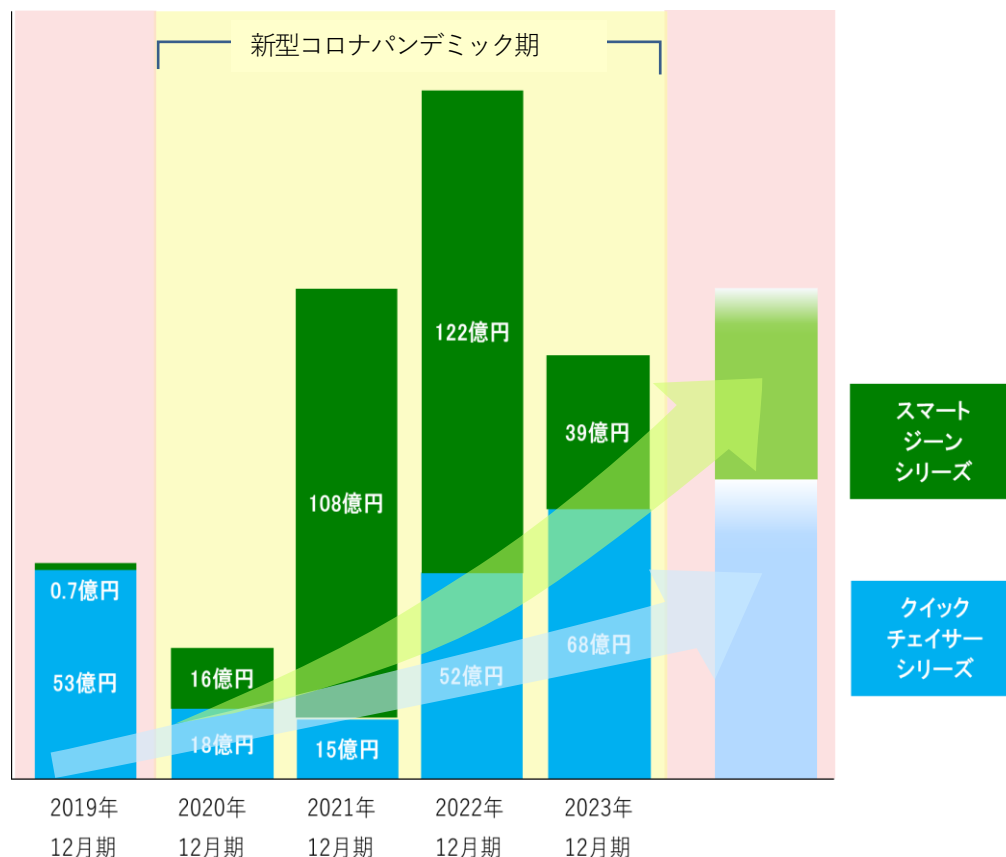
### Smart Gene シリーズ

#### 呼吸器感染症

新型コロナウイルス、マイコプラズマニューモニエ、インフルエンザウイルスA,B

#### 消化器感染症

H.pylori菌、CDトキシン



## 遺伝子POCT検査機器・試薬システム Smart Geneシリーズの特徴を活かした製品群

### 呼吸器感染症分野

#### SARS-CoV-2 RNAの検出

スマートジーン® SARS-CoV-2



#### インフルエンザウイルスRNAの検出

スマートジーン® Flu A,B



#### マイコプラズマ・ニューモニエDNAの検出 及び 23SrRNA遺伝子ドメインV領域の変異の検出

スマートジーン® Myco



### 早期確定診断 ⇒ 早期治療, 感染防御

- ・コンパクトで低コストの装置
- ・前処理不要 1ステップ
- ・検体滴下から40~50分で検査出力
- ・結果プリントアウト (ネットワーク対応)

### 薬剤耐性の同時鑑別 ⇒ 抗菌薬適正使用

- ・Qプローブ法により  
薬剤耐性変異の同時検出

### 消化器感染症分野

#### クロストリディオイデス・ディフィシル トキシンB DNAの検出

スマートジーン® CDトキシンB



#### ヘリコバクターピロリDNAの検出 及び 23SrRNA遺伝子ドメインV領域の変異の検出

スマートジーン® H.pylori G



全自動遺伝子解析装置

Smart Gene®

## スクリーニング&確定診断による 感染初期の遺伝子検査需要を拡大

確定診断を迅速に治療・投薬へつなげる

### 基幹病院

#### 呼吸器重症感染症

ウイルス，細菌呼吸器感染症  
迅速診断と  
薬剤耐性変異検出

#### 消化器感染症

上部及び腸管感染症  
食中毒の迅速診断と  
薬剤耐性変異検出

#### 院内感染症予防

入院病棟，医療従事者感染と  
アウトブレイク防御

## 遺伝子POCT

### 機器・試薬システム

- ・コンパクトで低コストの装置
- ・簡易迅速な操作法
- ・Qプローブ法により同時変異検出

### グレードアップ

- ・多項目選定・同時検出
  - ・超高速サーマルサイクルPCR
- <更なるイノベーションの発掘>  
DX（ネットワーク，クラウド）

### クリニック・市中病院

#### 小児科内科呼吸器感染症

ウイルス，細菌呼吸器感染症  
迅速診断と  
薬剤耐性変異検出

#### 消化器感染症

上部及び腸管感染症  
食中毒の迅速診断と  
薬剤耐性変異検出

#### 泌尿器・婦人科感染症

細菌性感染症  
迅速診断と  
薬剤耐性変異検出

新たなる遺伝子診断市場への展開

# 技術開発を基盤とした当社成長戦略



## ➤ R&Dステージ



### 各開発品の現在のステータス

遺伝子POCT  
スマートジーン

スマートジーンシリーズ項目拡大  
(呼吸器・消化器感染症, 泌尿器・性感染症)

外部評価、  
承認申請ステージ

迅速マルチ  
検査システム  
遺伝子POCT

新規機器・試薬システム開発  
(感染症同時多項目測定機器試薬)

製品開発ステージ

迅速抗原検出試薬  
クイック  
チェイサー

POCT新規項目 (クイックチェイサーシリーズ項目拡大)  
(SARS-CoV-2/RSV 他, 多剤耐性菌)

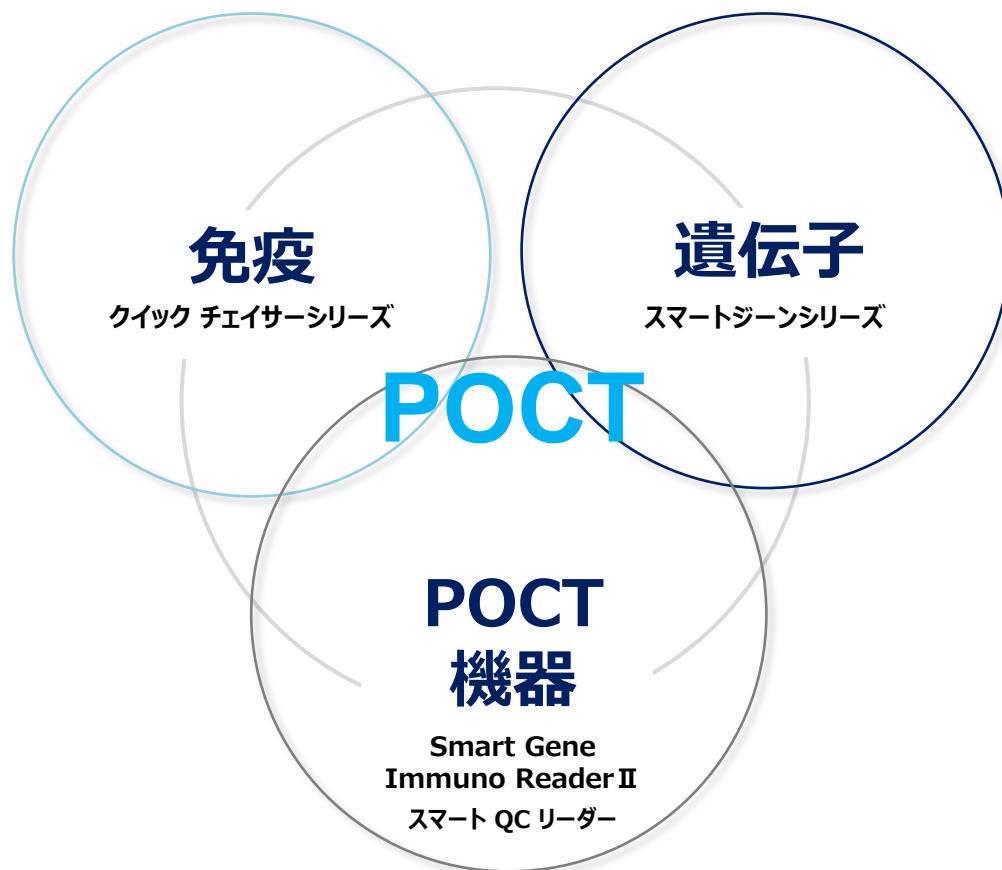
工業化ステージ

## Ⅲ 事業概要（ご参考）





病院・開業医分野



OTC・その他分野



※POCT (Point of Care Testing) : 診察室、病棟及び外来患者向け診療所など、患者に近い医療現場での検査

# (1) POCT迅速診断キット(機器判定・目視判定)



## ▶ スマート QC リーダー(クイック チェイサーシリーズキット測定用医療機器)

デンシトメトリー分析装置

スマート QC リーダー®



- ◎クイック チェイサーシリーズ (リーダー対応) の読取装置
- ◎機器による客観的な判定 (発色濃度を画像解析) が得られ、目視判定時の迷いを解消
- ◎2023年2月 スマート QC リーダー対応 SARSコロナウイルス抗原キット「クイック チェイサー SARS-CoV-2」を発売開始

2023  
2月発売

【スマート QC リーダー対応試薬】



SARS-CoV-2



SARS-CoV-2/Flu



Flu A,B



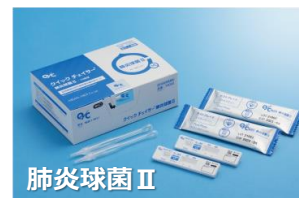
Strep A



Adeno



RSV/hMPV



肺炎球菌 II



肺炎球菌/レジオネラ

### 【製品の特長】

- ◆ 選べるモード設定
  - ①ヨミトリ (反応時間経過後に機器が判定)
  - ②ジドウソクテイ (試料滴下後に自動測定)
- ◆ 検査結果は自動でプリントアウト
- ◆ 軽量 (0.7kg)、コンパクトで持ち運び可能 103×220×125mm (幅×奥行×高さ)
- ◆ 時間管理が不要 (※モードによる)

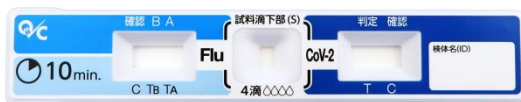
# (1) POCT迅速診断キット(目視判定)



## クイック チェイサー シリーズ (業界トップクラスのラインナップ)

大病院からクリニックまで、どのような医療現場でも使うことができる、POCT製品(迅速診断キット)シリーズ

### 呼吸器感染症検査薬



SARSコロナウイルス/  
インフルエンザウイルス



hMPV



RSウイルス



マイコプラズマ

### 消化器感染症検査薬

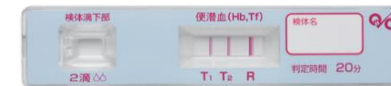


ノロウイルス



ロタウイルス/  
アデノウイルス

### 尿糞便検査薬



便潜血



クロストリジウムディフィシル



H. ピロリ

## (2) POCT機器試薬システム (機器判定)



### ➤ 高感度感染症迅速診断システム

デンシトメトリー分析装置

クイック チェイサー Immuno Reader II

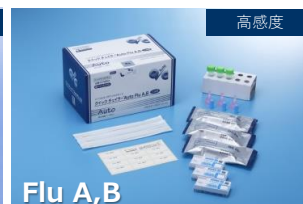


◎ 当社のメンブレン技術と富士フイルム株式会社の写真現像技術を融合した銀増幅反応により高感度化を実現

◎ 2023年1月  
SARSコロナウイルス抗原キット・インフルエンザウイルス抗原キット  
「クイック チェイサー Auto SARS-CoV-2/Flu」を発売開始

【AUTOシリーズ専用試薬】

2023  
1月発売



#### 【製品の特長】

- ◆ 早期診断が可能 (発症初期の診断精度向上)
- ◆ コンパクト化 (省スペース)
- ◆ タッチパネルの採用 (操作性・視認性向上)
- ◆ バーコードリーダー搭載 (検体ID情報等読取可)
- ◆ 装置による結果判定 (判定結果はモニター表示とプリントアウト)

Immuno Readerシリーズ 累計販売台数：約5,200台

## (3) 遺伝子POCT機器試薬システム ①



### ▶ 全自動遺伝子解析システム (PCR・Qプローブ法)

#### 全自動遺伝子解析装置 Smart Gene



- ◎ 遺伝子の抽出・PCR増幅・検出を1つのカートリッジ内で行いコンタミなどのリスクを抑制する簡易迅速な測定操作試薬
- ◎ 2021年4月 SARSコロナウイルス核酸キット「スマートジーン SARS-CoV-2」を発売開始
- ◎ 2022年12月 ヘリコバクターピロリ核酸キット「スマートジーン H.pylori G」を発売開始

#### 【Smart Gene専用試薬】



H.pylori G



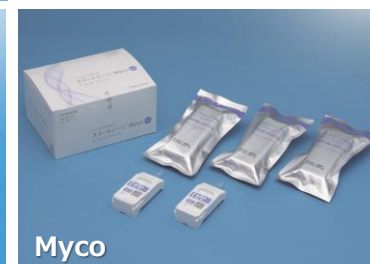
CD トキシンB



Flu A,B



SARS-CoV-2



Myco

#### 【製品の特長】

- ◆ 迅速判定が可能
- ◆ 1ステップ自動判定。試薬ロスができません
- ◆ 核酸分子の配列情報を解析できます
- ◆ コンパクト設計の卓上タイプ
- ◆ タッチパネルでスムーズな操作

Smart Gene 累計販売台数：約5,200台



## (3) 遺伝子POCT機器試薬システム ②



### ▶ 全自動遺伝子解析システム (PCR・Qプローブ法)

微生物/遺伝子検査が身近に

～ SARSコロナウイルス感染症(COVID-19)の検査体制の拡充に貢献 ～



#### 体外診断用医薬品

SARSコロナウイルス核酸キット

### スマートジーン® SARS-CoV-2

#### 【試薬の特長】

- ◆ 煩雑な前処理不要 (RNA抽出作業が不要)
- ◆ 新型コロナウイルスの検出が試料滴下からわずか約60分の迅速判定
- ◆ 開業医・診療所などで、院内検査が可能

## (3) 遺伝子POCT機器試薬システム ③



### ▶ 全自動遺伝子解析システム（PCR・Qプローブ法）

微生物/遺伝子検査が身近に

～ 日本で初めての胃内視鏡廃液を利用した高感度遺伝子測定 ～

2022年11月 保険収載



#### 体外診断用医薬品

ヘリコバクターピロリ核酸キット

### スマートジーン® H.pylori G

#### 【試薬の特長】

- ◆ 感染診断とクラリスロマイシン感受性の判定が可能
- ◆ 煩雑な前処理不要（RNA抽出作業が不要）
- ◆ 内視鏡検査当日に適切な除菌薬が選定できる
- ◆ 開業医・診療所などで、院内検査が可能



# ➤ 妊娠検査薬 ・ 排卵日検査薬

◎ 自社ブランド「P-チェック」での販売や大手チェーン店とのPB提携も実施

【妊娠検査薬】



【排卵日検査薬】



◎ アリナミン製薬株式会社 販売の「ハイテスターシリーズ」

【妊娠検査薬】



【排卵日検査薬】



## IRに関するお問い合わせ先

**株式会社ミズホメディー 総務部**

**電話：0942-85-0303**

**お問い合わせフォーム：[https://www.mizuho-m.co.jp/ir/ir\\_contact](https://www.mizuho-m.co.jp/ir/ir_contact)**

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。